

一般社団法人 薬学教育協議会  
第 56 回理事会議事録

日 時：平成 31 年 1 月 30 日（水） 14：55～17：05

場 所：日本薬学会長井記念館 1 階 B 会議室

出席者：別記 1

配付書類：別記 2

○定足数について

理事総数 19 名中 11 名の理事が出席しており、定款第 37 条に定める定足数を満たしている  
るので、本日の理事会は成立すると本間代表理事が宣言した。

○議案

1. 平成 31 年度事業計画（案）について

資料 1 に基づき本間代表理事が説明した。平成 31 年度事業計画（案）は異議なく承認され  
た。また、各支部の事業計画案（追加資料 2）についても、提出が間に合わなかった北海道  
支部を除き承認された。北海道支部の事業計画案は後日書面による理事会に諮る。

2. 平成 31 年度予算案について

資料 2 に基づき関藤事務局長が本部予算案について説明した。

平成 30 年度は、本部における単年度赤字決算解消のために予算を見直しそれに基づいて予  
算を執行した。平成 30 年度決算は単年度黒字となる見込みで、平成 31 年度予算案における  
前年度繰越金は前年度予算額を上回る金額を計上した。また、平成 31 年度予算案より、新た  
な事業が発生した場合に対応できるよう予備費の項目を立てた。平成 31 年度本部予算案は異  
議なく承認された。

各支部の予算案（追加資料 3）については、本間代表理事から説明があり、提出が間に合  
わなかった北海道支部予算案を除き承認された。北海道支部の予算案は後日書面による理事  
会に諮る。

また、平成 30 年度補正予算案（支部）（追加資料 1）は本間代表理事から説明があり、異  
議なく承認された。

本間代表理事より、この場に限らずいつでもご意見を賜りたい。薬学教育協議会の活動に  
チェックを入れていただき、アドバイスを頂きたいと思っているとの発言があった。

○報告および協議事項

1. 病院・薬局実務実習中央調整機構委員会の報告

資料 3-1～3-3 に基づき、本間代表理事が報告した。また、北海道地区で起きた高圧蒸気滅  
菌装置の誤った取り扱いにより発生した事故について伊東業務執行理事が報告し、注意を促  
した。

## 2. 業務執行理事会の報告

資料 4-1、4-2 に基づき、本間代表理事が報告した。

薬学教育協議会での調査結果の公表、取り扱い（資料 4-2 P.2）について協議した。

(1) 薬学教員名簿：変更なし

（これまで通り大学を通して申込み、事務局がナンバーで管理する。）

(2) 実務実習実施結果調査：薬学教育協議会のウェブサイトに公開する。

(3) 在籍者数調査：薬学教育協議会のウェブサイトに公開する。

(4) 就職動向調査：就職先別初任給一覧のページを除き、ウェブサイトに公開する。

なお、ウェブサイトに集計結果を公開する (2) ～ (4) については、データ収集時に集計結果（大学名や大学別の結果は非公開）を公開する旨をデータ提供者に周知する。

また、公開された結果を使用する際は出典を明記するよう伝える。

## 3. 学術正会員の任期について

第 52 回理事会（平成 30 年 5 月 30 日開催）において、須田業務執行理事（現顧問）より学術正会員の資格に以下の制限を設けることの発議があった。

- ① 学術正会員の資格は 1 期 2 年とし、連続する場合は 4 期 8 年を上限とする。当該会員はその期間内に退会することとする。
- ② ①項の定めに関わらず、学術正会員は満 75 歳に達した時は退会することとする。ただし、当該学術正会員が代表理事または業務執行理事の任期中であるときはその年度に関する定時社員総会の終結の時をもって退会することとする。

須田顧問が資料 5 に基づき発議の経緯を説明し協議した結果、提案通り学術正会員に任期を定めることが承認された。会員規則第 5 条の改正による対応を検討するが、必要があれば定款の変更も行う。

須田顧問と三輪監事に指導いただき条文案を作って理事会に諮ると本間代表理事が発言した。

## 4. 日本薬学教育学会からの依頼について

資料 6 に基づき平田業務執行理事が説明した。特に反対意見はなく共催として協力することとなった。

なお、講師の派遣や地区からの派遣については改めて相談させていただきたいと平田業務執行理事が発言した。

## 5. 平成 31 年度会議日程について

これまで 3 月に開催していた理事会をここ 2 年は 1 月末に開催（平成 30 年は出席者が定足数に達せず流会）してきた。そのため、各支部の事業計画案および予算案の提出期限を 1 月下旬としていた。しかし各支部から、提出期限を守るために支部総会を 12 月～1 月に開催することは大変との声が寄せられた。

協議の結果、来年の同時期の理事会は 2 月または 3 月に日程調整のうえ開催する方向となった。

## 6. その他

- 在宅医療・介護をテーマとした映画の広報協力について  
追加資料4に基づき、本間代表理事が説明した。製作会社より後援依頼と試写会開催の依頼があった。協議の結果、後援として協力し試写会も開催する方向となった。
- 実務実習に関する広報用ポスターについて  
実務実習に関する広報用ポスターについて、関係団体より後援名義使用の許可をいただき、また、平成31年度は日本病院薬剤師会の協力を得て無事に完成したと本間代表理事よりお礼と報告があった。
- 支部の名称について  
日本薬学会では「近畿支部」を「関西支部」と名称変更する決議を総会（3月20日）で行う予定であると奥理事（日本薬学会会頭）から情報提供があった。薬学教育協議会の支部名も日本薬学会の支部名に合わせて変更する場合は理事会の承認事項となる。今後検討する。
- 三輪監事よりの資料  
薬剤師の今後に関して三輪監事よりお話いただいた。  
薬学教育協議会のウェブサイトには三輪監事の事務所ウェブサイトのリンクを貼り、薬学教育協議会のウェブサイトを訪れた方に三輪監事の方へ原稿等を見ていただけるようにする。

以上、相違ありません。

平成31年2月19日

一般社団法人 薬学教育協議会  
代表理事 本 間 浩  
(押印済み)

監 事 三 輪 亮 寿  
(押印済み)

監 事 齊 藤 勲  
(押印済み)

## 別記 1

## 一般社団法人 薬学教育協議会 第 56 回理事会出席者名簿

	氏名（敬称略）	所属・役職	出欠
代表理事	本間 浩	北里大学薬学部	○
業務執行理事・専務理事	伊東 明彦	明治薬科大学	○
業務執行理事	北河 修治	神戸薬科大学	○
業務執行理事	平田 收正	大阪大学大学院薬学研究科	○
業務執行理事	望月 正隆	山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部	欠
理事	中山 和久	京都大学大学院薬学研究科	欠
理事	一條 秀憲	東京大学大学院薬学系研究科	○
理事	土井 健史	大阪大学大学院薬学研究科	欠
理事	大野 尚仁	東京薬科大学薬学部	欠
理事	鍛冶 利幸	東京理科大学薬学部	○
理事	中村 明弘	昭和大学薬学部	○
理事	後藤 直正	京都薬科大学	○
理事	政田 幹夫	大阪薬科大学	○
理事	山本 信夫	公益社団法人 日本薬剤師会	欠
理事	木平 健治	一般社団法人 日本病院薬剤師会	欠
理事	家入 一郎	国公立大学薬学部長（科長・学長）会議	欠
理事	井上 圭三	一般社団法人 薬学教育評価機構	欠
理事	奥 直人	公益社団法人 日本薬学会	○
理事	白幡 晶	城西大学	○
監事	三輪 亮寿	三輪亮寿法律事務所	○
監事	齊藤 勲	元厚生省大臣官房	○
顧問	百瀬 和享	昭和大学名誉教授	○
顧問	須田 晃治	明治薬科大学名誉教授	○

**別記 2** 配付資料

資料 1 : 平成 31 年度事業計画 (案)

資料 2 : 平成 31 年度予算案

資料 3-1 : 第 36 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録

資料 3-2 : 第 37 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録

資料 3-3 : 第 38 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録

資料 4-1 : 第 36 回業務執行理事会議事録

資料 4-2 : 第 37 回業務執行理事会議事録

資料 5 : 学術正会員の任期について (第 52 回理事会議事録より抜粋)

資料 6 : 第 1 回日本薬学教育学会臨床教育サテライトシンポジウム (案)

資料 7 : 平成 31 年度会議日程 (案)

第 55 回理事会 (書面による理事会) 議事録

追加資料 1 : 平成 30 年度補正予算 (支部)

追加資料 2 : 平成 31 年度事業計画 (支部)

追加資料 3 : 平成 31 年度予算案 (支部)

追加資料 4 : 映画「ピア～まちをつなぐもの～」(製作会社より)

追加資料 5 : 三輪監事より原稿

平成 31 年度実務実習広報用ポスター